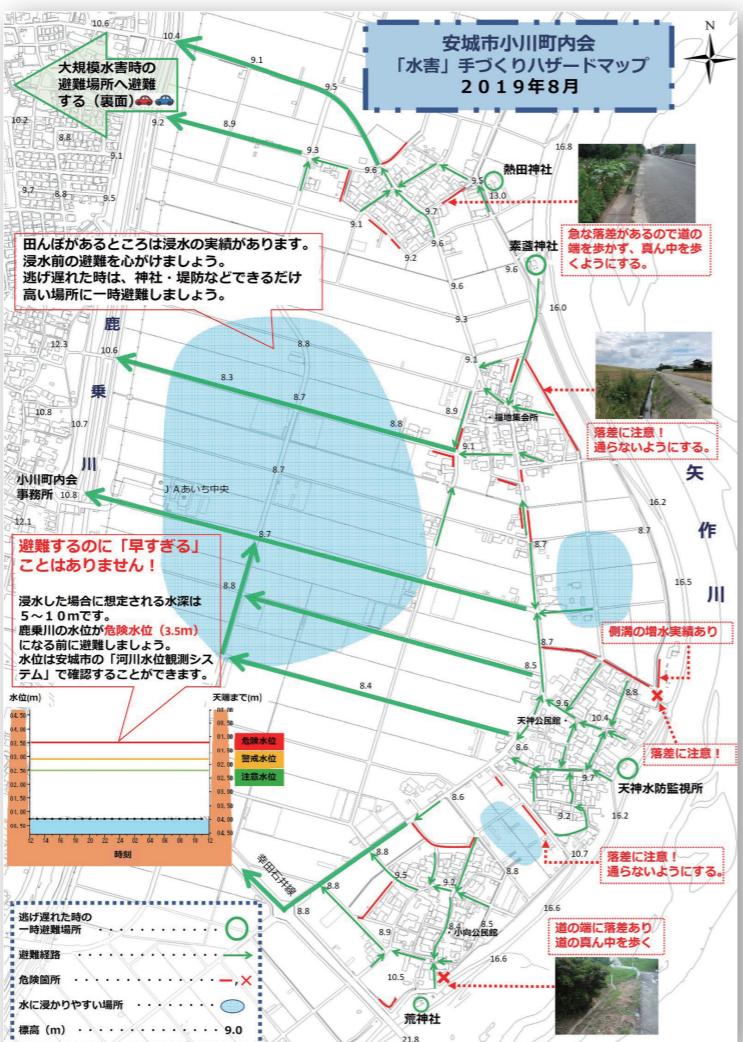


水害について「学び備える」ための取組

- 想定し得る最大規模の降雨による浸水想定区域を表した「安城市水害ハザードマップ」や水害時に発信される様々な防災情報の存在や活用方法を、まちかど講座や小・中学校向けの防災教育により周知していきます。
- 50cm以上の浸水が想定される地区では、「みずから守るプログラム」という事業を活用して、住民自らまちの地形や浸水しやすい場所を知り、水害時の安全な避難について考える取組を推進していきます。

▼ みずから守るプログラムを活用した「手作りハザードマップ」の作成



＜まちかど講座のご案内＞

安城市雨水マスターplanの取組に関して、2つの講座を用意しています。
お申込みいただければ、市職員が出向いて説明しますので、気軽にご利用ください。

- ① 水環境にやさしく、防災・減災に役立つ雨水対策について
- ② 水害ハザードマップについて

計画の詳細を
知りたい方は、
市HPをご覧
ください。



問い合わせ先

安城市建設部土木課

TEL:0566-71-2239 FAX:0566-77-0010
Email:doboku@city.anjo.lg.jp

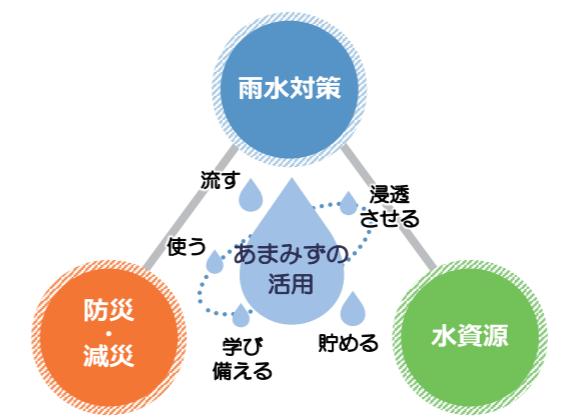
「あめの恵みを活かす安城」を目指して 第2次安城市雨水マスターplanを推進します！

本市では、平成23年3月に策定した安城市雨水マスターplanを見直し、令和3年度から10年間の次期計画を策定しました。この計画に基づき、グリーンインフラを中心とする公民連携による雨水対策を推進するとともに、いつ起こるか分からない豪雨災害に対して命を守るために備えを充実させていきます。

雨水対策の基本方針と5つの視点

基本方針

市民、事業者及び行政が協働して、あまみずを水資源として捉え、さらに防災・減災の視点を取り入れた雨水対策を推進する。



- ① 雨水を安全に
「流す」 ② 雨水を地下に
「浸透させる」



- ③ 雨水を
「貯める」 ④ 貯めた雨水を
「使う」 ⑤ 水害について
「学び備える」



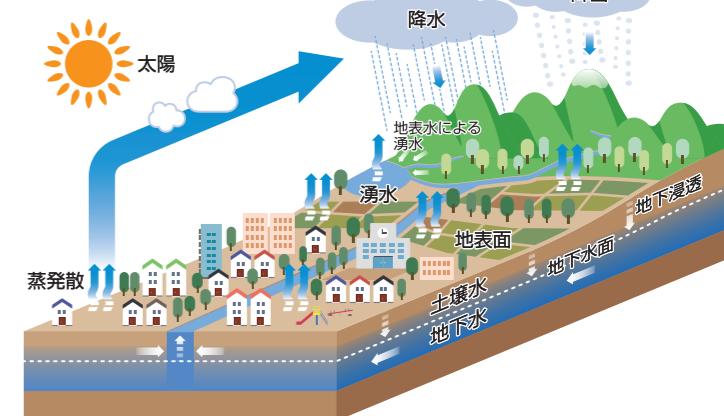
防災・減災目標

- 平成20年8月末豪雨※と同等の豪雨に対し、家屋の浸水被害を解消する。
- 想定し得る最大規模（1000年確率規模以上）の降雨により大規模水害が発生しても死者を出さない（逃げ遅れゼロ）。

持続可能な開発目標（SDGs）への貢献



水資源の確保（水循環の健全化）



※平成20年8月末豪雨では、1時間当たり最大雨量77mm、総雨量226mmの集中豪雨により、床上浸水15戸、床下浸水72戸の被害が発生しました。

雨水を安全に「流す」ための取組

- 国や県と連携しながら一級、二級河川の整備を推進していきます。
- 土地区画整理事業を通じて、雨水を排水するための下水道（管渠）を整備していきます。
- 河道に堆積した土砂の除去（浚渫）を計画的に実施していきます。
- 市民との協働により河川などの草刈りや清掃作業を実施していきます。

▼ 河川の整備（鹿乗川の整備状況＝令和2年7月撮影）



▼ 下水道（管渠）の整備



▼ 河川の浚渫



▼ 市民による河川の草刈り



雨水を「浸透させる」「貯める」「使う」ための取組

- 雨水が自然に浸み込む農地を保全し、過去に浸水被害のあった市街地の上流では田んぼに雨水を余分に貯める「水田貯留」を推進していきます。
- 市民・事業者・行政が協力して、市内全域で雨水浸透施設（透水性舗装や浸透マスなど）や雨水貯留施設（調整池や雨水タンクなど）の設置、雨水が浸み込む緑地の拡大を推進していきます。

▼ みんなで守りたい農地



▼ みんなで協力して推進する水田貯留



▼ 行政・事業者による雨水貯留浸透施設の設置



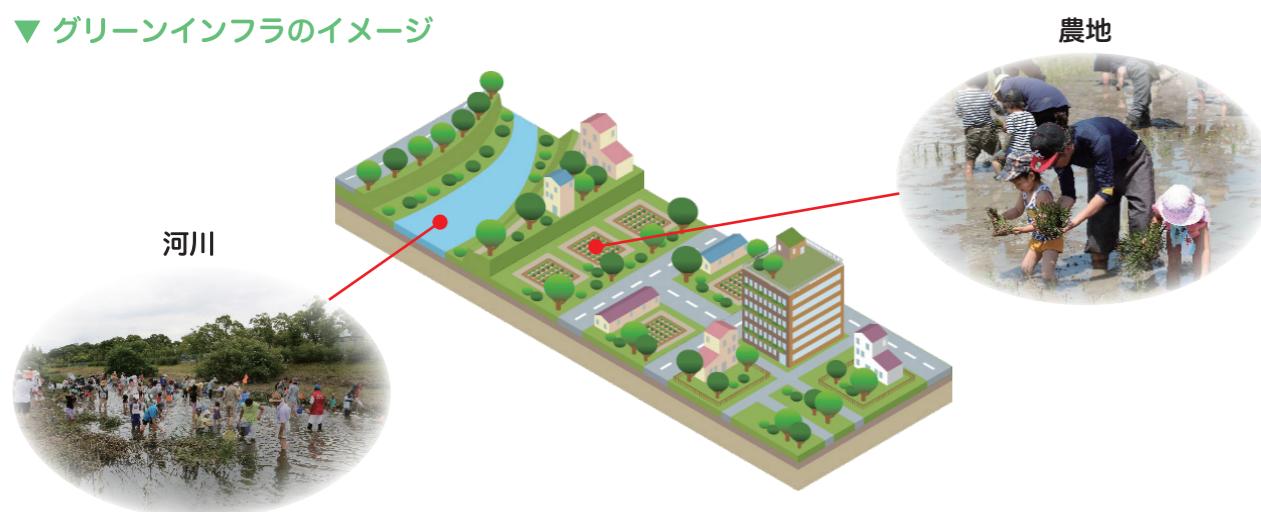
▼ 市民による雨水タンクの設置



あらゆる分野に通ずる「グリーンインフラ」

グリーンインフラとは、自然が有する多様な機能をインフラ整備に活用するという考え方です。自然と親しめる空間を創出する多自然川づくり、農地の保全や緑地の拡大により、生物の生息・生育の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制など、様々な付加価値が生まれます。

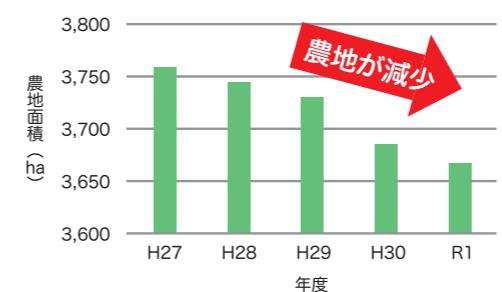
▼ グリーンインフラのイメージ



市民・事業者の皆様へ
雨水貯留浸透施設の設置や
民有地の緑化に対して補助
金の交付を行っていますの
で、気軽にご相談ください。

なぜ、農地の保全や雨水貯留浸透施設の設置などの雨水対策を推進するのか？

▼ 農地面積の推移（「安城の農業」より）



何も対策
しないと

- ✓ 雨水が流出する量が増加することで、
水害のリスクが高まります！
- ✓ 雨水が地下に浸み込む量が減少する
ことで、
雨が少ない時期の河川は枯渇し、生態系が崩れる恐れがあ
ります！